



令和 6年 12月 23日
独立行政法人国立科学博物館

国立科学博物館主催 第41回 植物画コンクール 入選作品決定

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、姿を正しく観察することを通し植物をより深く理解し、植物に対する愛情と人と植物のつながりに関心を持つ、次世代の人材を育成していくことが重要と認識し、学習支援事業の一つとして、毎年、植物画コンクールを実施しております。

令和 6 年度は第 41 回を迎え、全国から **783 点の応募**があり審査の結果、このたび**文部科学大臣賞 2 点を含む 66 点の入選作品を決定**しました。

入選作品展を筑波実験植物園にて令和 7 年 2 月 8 日（土）から 2 月 24 日（月・休）、上野本館にて令和 7 年 7 月 1 日（火）から 7 月 21 日（月・休）、附属自然教育園にて 8 月 2 日（土）から 9 月 15 日（月・休）に行う予定です。

なお、別紙にコンクール概要及び入選者一覧を添付いたしますので、ご参照下さい。

本件についての問合せ

独立行政法人国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一、中山 瑠衣
担当研究員：國府方 吾郎（植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-8984 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP <https://tbg.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館主催第 41 回植物画コンクール概要

[事務局] 独立行政法人国立科学博物館 筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

Tel:029-851-5159

Fax:029-853-8998

- 1 主 催：独立行政法人国立科学博物館（館長 篠田 謙一）
- 2 後 援：全国科学博物館協議会
- 3 趣 旨：植物画を描くことによって植物の姿を正しく観察し、植物をより深く理解するとともに植物に対する愛情を深め、人と植物のつながりにも高い関心を持っていただくことを目的とする。
- 4 募集部門：「小学生の部」「中学生・高校生の部」の2部門
※第40回（令和5年度）から一般の部を廃止し、上記2部門のみでの募集といたしました。
- 5 作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品、用紙のサイズはB4判、または八ツ切厚さ5ミリ以内、画材は自由。
- 6 受付期間：令和6年9月1日（日）～令和6年10月31日（木）
- 7 応募総数：小学生の部 241点、中学生・高校生の部 542点
合計 783点
- 8 審 査：審査員が、植物学・美術・教育の立場から、観察の注意深さ、表現の正確さ、芸術的な美しさなどを基準として、令和6年11月18日（月）に国立科学博物館筑波研究施設植物研究部棟1階会議室において審査を行った。
- 9 審 査 員：石川美枝子 植物画家
遠藤 一支 土浦市立土浦第二中学校教諭
西野 範夫 元上越教育大学学校教育学部教授
邑田 仁 東京大学名誉教授
細矢 剛 国立科学博物館筑波実験植物園長
田中 伸幸 国立科学博物館植物研究部陸上植物研究グループ長

■小学生の部

〔総評〕

いろいろな情報が得られる今日、自分の興味・関心のある身近な植物を選んでいることが感じられ、全体的に画材の多様化がみられた。子どもらしい生命力と感性によって描かれた作品が多くみられた。

〔小学生の部 文部科学大臣賞〕 「ホテアツモリソウ」 塩崎 文乃（埼玉県）



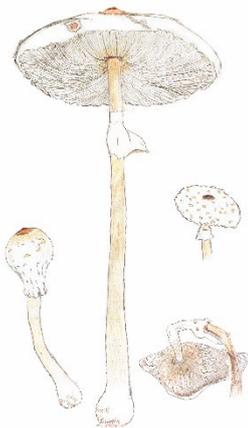
自在な画面構成のなかにホテアツモリソウの特徴が盛り込まれており、精密な描写とともに植物画の要素を十分に満たしている。この植物を現地でスケッチすることは大変だが、その特徴を目立たせるために落ち葉を着色しないなどの自分なりの工夫をしていて、植物の自然の雰囲気がよく表現されている。特に、繊細に描かれた葉脈などから生命力が感じられ、植物に素直に向き合い、その美しさを感じながら描かれている。

〔小学生の部 国立科学博物館長賞〕 「キメンカク（鬼面角）」 山本 一子（愛知県）



各部分を画面いっぱいバランスよく配置し、花の断面を茎に重ねて立体感を出すことで迫力のある作品になっている。茎の切り口を取り入れて維管束の状態を見せるとともに、その縁から枝分かれしている茎を描くことで植物の生命力が表現されている。花を詳細に描くことでその美しさを表現している。また、この植物の立体感や調和のある美しさを感じて画面全体がバランスよく、美しい構成になっている。

〔小学生の部 筑波実験植物園長賞〕 「マントカラカサタケ」 鈴木 惺也（神奈川県）



傘の柔らかさ、いぼ（マント）などマントカラカサタケの特徴をよく観察し、柔らかな感性によって素直に表現されている。特に、野外で観察しながらの表現のよさが随所に見られる。例えば、直立した状態を低いアングルから描くことで個性的な作品となっており、キノコ愛すら感じる。傘の裏側の特徴に気付き、詳細に表現している。色彩的には目立たないきのこであるが、その微妙な色彩の美しさも表現されている。

■中学生・高校生の部

〔総評〕

多くの作品が植物の観察の仕方、捉え方も多様になっているとともに、表現の対象も表現方法もそれぞれの工夫がみられて多様になっているので、個性的な作品が多くみられた。今日の複雑多様な価値観が混在するなかで、自分らしく自然と豊かに関わっていることが見てとれた。

〔中学生・高校生の部 文部科学大臣賞〕 「ムラサキキャベツ」 高塩 春馬（栃木県）



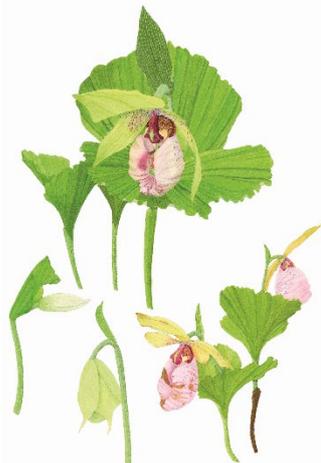
瑞々しい感性によって、ムラサキキャベツの特徴をよく観察して表現している。特に、結球の表面と葉が密に詰まった断面の特徴、緑色のキャベツでは見られない紫色のつぼみと黄色い花弁の対比、立体感などが誠実に表現されている。色鉛筆で滑らかに描くことは難しいが、それをうまく克服して色鉛筆の特性を生かしている。結球と花を描くためのスケジュールもよく考えていたことも伺え、完成度の高い作品と言える。

〔中学生・高校生の部 国立科学博物館長賞〕 「アキタブキ」 岡林 圭花（北海道）



アキタブキの大きな葉を描くのではなく、地下茎の先から出た小さい葉を描き、その後の成長した葉や花を描いた画面構成、葉・花を一枚の画に収めた画面構成に感性を感じる。また、成長段階の異なる花を描くために綿密なスケジュールを立てている。この植物が雌雄異株であることを意識し、雄花と雌花をしっかりと描いている。この作品を見てくれる人にこの画との対話を期待する意識が感じられる。

〔中学生・高校生の部 筑波実験植物園長賞〕 「クマガイソウ」 岡林 春花（北海道）



クマガイソウの特徴を表現するために複複数のアングルから描き、重ねる技法で奥行きのある作品となっている。葉の形の特徴や質感もよく感じ取り、描き重ねる技法を工夫して奥行きも表現している。また、地味な花色を浮き立たせる効果、バランスのよい配置から画面全体が美しい構成になっている。黄緑系の色を主に使って葉の形態的特徴と質感を正確に捉えて描かれており、表現の豊かさが感じられる。

1.1 入選作品数

	小学生の部	中学生・ 高校生の部	計
文部科学大臣賞	1点	1点	2点
国立科学博物館長賞	1点	1点	2点
筑波実験植物園長賞	1点	1点	2点
佳作	10点	10点	20点
準佳作	20点	20点	40点
合計	33点	33点	66点

総合計 66点

1.2 特別奨励賞（学校表彰）：1校

聖徳学園小学校（東京都）

1.3 第41回植物画コンクール入選作品展：

日時：令和7年2月8日（土）～2月24日（月・休）

会場：国立科学博物館筑波実験植物園

茨城県つくば市天久保 4-1-1

（展示予定）

日時：令和7年7月1日（火）～7月21日（月・休）

会場：国立科学博物館 上野本館

東京都台東区上野公園 7-20

日時：令和7年8月2日（土）～9月15日（月・休）

会場：国立科学博物館附属自然教育園

東京都港区白金台 5-21-5

国立科学博物館主催 第41回植物画コンクール入選者一覧表

[小学生の部]

応募点数 241点 学校数 63校

◎文部科学大臣賞(1点)

氏名	作品名	都道府県	学校名及び学年
塩崎 文乃	ホテアツモリソウ	埼玉県	埼玉大学教育学部附属小学校 6年

◎国立科学博物館長賞(1点)

山本 一子	キメンカク(鬼面角)	愛知県	豊橋市立芦原小学校 4年
-------	------------	-----	--------------

◎筑波実験植物園長賞(1点)

鈴木 惺也	マントカラカサタケ	神奈川県	茅ヶ崎市立小出小学校 3年
-------	-----------	------	---------------

◎佳作(10点)

丹尾 友奏	イヌタデ	千葉県	市川市立信篤小学校 1年
池田 瑛心	ダイオウショウ	広島県	安田学園安田小学校 2年
佐藤 智世	ブドウ‘巨峰’	山形県	鶴岡市立朝暘第一小学校 2年
星 美緒	キキョウ	東京都	聖徳学園小学校 2年
丹尾 友紀	ヤブミョウガ	千葉県	市川市立信篤小学校 3年
池田 蒼征	フウセンカズラ	広島県	安田学園安田小学校 4年
杉村 恵麻	アマリリス	東京都	聖心女子学院初等科 4年
佐藤 朱里	エゾリュウキンカ	北海道	札幌市立山鼻小学校 5年
谷中 笑子	ホオズキ	茨城県	つくば市立春日学園義務教育学校 6年
西田 壮甫	ケレウス属の一種	宮城県	仙台市立東二番丁小学校 6年

◎準佳作(20点)

谷中 彩世	オクラ	茨城県	つくば市立春日学園義務教育学校 1年
多山 結美乃	パプリカ	東京都	杉並区立天沼小学校 1年
島根 歩志	オオサワトリカブト	東京都	聖徳学園小学校 2年
中野 皓仁	オンダ	東京都	聖徳学園小学校 2年
野口 宗輔	アボカド	茨城県	つくば市立谷田部小学校 2年
今西 真彩	オオイヌノフグリ	東京都	聖徳学園小学校 3年
工藤 人嗣	ヤマボウシ	東京都	聖徳学園小学校 3年
櫻井 悠	イロハモミジ	東京都	聖徳学園小学校 3年
高橋 怜	コバギボウシ	神奈川県	横浜市立洋光台第一小学校 3年
野中 琥心	カボチャ	東京都	稲城市立平尾小学校 3年
小笠原 宙太	ウワバミソウ	神奈川県	秦野市立南小学校 4年
三瓶 暁	イネ	宮城県	宮城教育大学附属小学校 4年
大池 ひいろ	ヒャクニチソウ	長野県	小諸市立美南ガ丘小学校 5年
坂井 渚	ツユクサ	東京都	杉並区立杉並第七小学校 5年
佐藤 堇	アメリカノリノキ‘アナベル’	埼玉県	西武学園文理小学校 5年
仲村 美紅	オクラ	沖縄県	宜野湾市立普天間第二小学校 5年
与謝野 旭	サルスベリ	東京都	聖徳学園小学校 5年
赤濱 由宇	タラノキ	茨城県	つくば市立谷田部小学校 6年
佐藤 真莉也	ランタナ	埼玉県	西武学園文理小学校 6年
平田 愛菜	ザクロ	東京都	聖徳学園小学校 6年

国立科学博物館主催 第41回植物画コンクール入選者一覧表

[中学生・高校生の部]

応募点数 542点 学校数 119校

中学生 379点 学校数 84校 / 高校生163点 学校数 35校

◎文部科学大臣賞(1点)

氏名	作品名	都道府県	学校名及び学年
高塩 春馬	ムラサキキャベツ	栃木県	那須塩原市立三島中学校 2年

◎国立科学博物館長賞(1点)

岡林 圭花	アキタブキ	北海道	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程 1年
-------	-------	-----	--------------------------

◎筑波実験植物園長賞(1点)

岡林 春花	クマガイソウ	北海道	北海道釧路湖陵高等学校 1年
-------	--------	-----	----------------

◎佳作(10点)

木村 真実	ニガウリ	埼玉県	川越市立砂中学校 1年
阿部 晃大	クサソテツ	北海道	釧路市立青陵中学校 2年
今川 詠那	ベニバナ(最上紅花)	山形県	天童市立第一中学校 3年
江崎 成	ナス	愛知県	稲沢市立祖父江中学校 3年
小山 あかり	ウリゴケ属の一種	神奈川県	伊勢原市立伊勢原中学校 3年
高木 悠花	クダモノケイソウ	神奈川県	茅ヶ崎市立赤羽根中学校 3年
庄司 桃栴	チシマアザミ	北海道	北海道立阿寒高等学校 1年
高山 琴音	オステオスペルマム	東京都	慶應義塾女子高等学校 1年
新川 真海	クレマチス	東京都	東京都立小山台高等学校 3年
松尾 美桜	ヤマボウシ	兵庫県	兵庫県立大学附属高等学校 3年

◎準佳作(20点)

浅沼 かりん	パブリカ	千葉県	佐倉市立佐倉中学校 1年
安藤 心春	ダリア	神奈川県	茅ヶ崎市立北陽中学校 1年
亀井 咲希	フクジュソウ	埼玉県	さいたま市立木崎中学校 1年
森山 真衣	ホオズキ	千葉県	柏市立田中中学校 1年
大谷 和	アンズリウム	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校 2年
栗田 莉帆	ハス	千葉県	柏市立柏第五中学校 2年
坂本 羽菜	プリムラ・マラコイデス	茨城県	筑西市立下館西中学校 2年
佐藤 亜由留	ヨウシュヤマゴボウ	北海道	士別市立士別南中学校 2年
青木 美織	イチジク	和歌山県	日高町立日高中学校 3年
石井 美羽	八重咲ヒマワリ	神奈川県	秦野市立鶴巻中学校 3年
志村 今日花	バンダ‘パチャラデライト’	大阪府	東大阪市立石切中学校 3年
百瀬 未徠	サツマイモ	千葉県	柏市立柏第五中学校 3年
秋吉 伶美	キングプロテア	東京都	N高等学校町田キャンパス 1年
大嶋 玲奈	アローディア・プロケラ	栃木県	宇都宮文星女子高等学校 1年
坂本 愛実	オニユリ	宮城県	宮城県宮城野高等学校 1年
原 実優	ドラゴンフルーツ	東京都	鷗友学園女子中学高等学校 1年
鹿納 裕子	ウツボカズラ	宮城県	宮城県仙台第二高等学校 2年
加藤 さあら	ホオズキ	神奈川県	神奈川県立神奈川工業高等学校 3年
菅原 朱湊	キキョウ	宮城県	宮城県迫桜高等学校 3年
森 美乃	ナガミヒナゲシ	静岡県	静岡県立静岡西高等学校 3年

国立科学博物館主催 第41回植物画コンクール入選者一覧表

[特別奨励賞（学校表彰）]

学校特別表彰は、学校単位で応募され、多くの作品が入選となった学校に対して、館長が特別奨励賞として表彰するものです。

学 校 名	所 在 地
聖徳学園小学校	東京都

第41回 植物画コンクール入選作品展

2025年

2月8日(土)～2月24日(月・休)

国立科学博物館 筑波実験植物園

[開園時間] 9時～16時30分 ※入園は16時まで

[休園日] 2/12(水)・2/17(月)

[入園料] 一般320円(20名以上の団体料金:250円)

高校生以下・65歳以上は無料

障害者手帳等をお持ちの方および介護者1名無料

[主催] 国立科学博物館(事務局:筑波実験植物園)

[後援] 全国科学博物館協議会



文部科学大臣賞

小校生の部

ホテイアツモリソウ

塩崎 文乃(埼玉大学教育学部附属小学校6年)



文部科学大臣賞

中学生・高校生の部

ムラサキキャベツ

高塩 春馬(那須塩原市立三島中学校2年)

第41回植物画コンクール入選作品展

国立科学博物館では、自然への理解を図る学習支援活動事業のひとつとして、毎年、植物画コンクールを行っています。第41回では、全国783点の応募作品から66点の作品が文部科学大臣賞、国立科学博物館長賞、筑波実験植物園長賞他、各賞に選ばれました。本企画展では、これらの入選作品を部門別に展示します。



国立科学博物館長賞

小学生の部

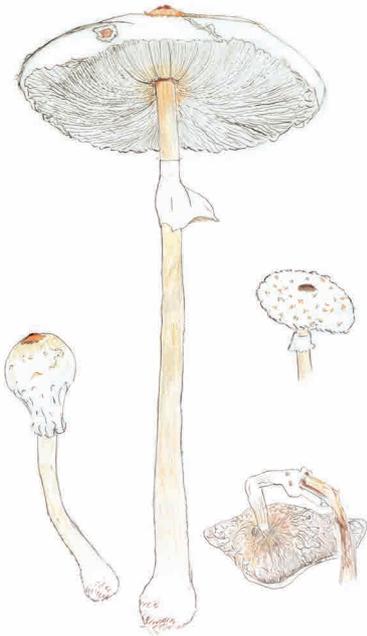
キメンカク（鬼面角）
山本 一子
（豊橋市立芦原小学校4年）



国立科学博物館長賞

中学生・高校生の部

アキタブキ
岡林 圭花
（北海道教育大学附属釧路義務教育学校
後期課程1年）



筑波実験植物園長賞

小学生の部

マントカラカサタケ
鈴木 惺也
（茅ヶ崎市立小出小学校3年）



筑波実験植物園長賞

中学生・高校生の部

クマガイソウ
岡林 春花
（北海道釧路湖陵高等学校1年）

■展示予定

国立科学博物館 上野本館

2025年7月1日(火)～7月21日(月・休)

国立科学博物館 附属自然教育園

2025年8月2日(土)～9月15日(月・休)

最新の情報はこちらから→



■アクセス情報

■自動車

常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ

約8km

圏央道 つくば中央I.C.から約7km

無料駐車場 約120台

■電車・バス

つくばエクスプレス「つくば」駅より

つくバス北部シャトル筑波山行き「天久保
(筑波実験植物園)」下車徒歩3分

関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波
実験植物園前」下車徒歩3分または筑波大学
循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

